

核兵器のない平和で公正な世界のために

原水爆禁止2014年世界大会

広島と長崎に原爆が投下されてから今年で69年になります。毎年、世界大会へ代表を送り出していますが、今年も小林輪音さん(小学5年生)と川上圭輔さん(城南ドルフィン・コーチ)、星野弘子さん(生協理事)の3人が、広島大会に参加しました。

原水禁世界大会に参加して

小林 輪音

ぼくが広島に行くまでは、原水爆禁止が爆発したときに放射能



大会に参加した川上コーチと小林輪音くん

をまいていたのかと思っていましたが、原爆資料館で爆発する前にまいていたという映像を見ました。そして、原爆ドームや原爆資料館を見て感じたことは、原水爆禁止がなくてもあぶないということです。原水爆1個で何百万人の人が死んでしまうこと

もわかりました。でも、原子と放射線の意味がわからなかったのを調べてみました。

この宇宙にあるものはすべて原子でできています。原子は小さな粒で、全部で100種類ほどの原子がさまざまに組み合

わさっています。

原子の大きさは、1センチの億分の1(一オングストローム)という大きさです。原子は「陽子」と「中性子」が集まってできた「原子核」とその周りを飛び回る「電子」でできています。ウランウムなどの大きな原子核に中性子をぶつけると、原子核が壊れることがあります。このことを核分裂とい

います。原子が核分裂するとき、放射線といっしょにとても大きなエネルギーがでます。これを利用してのが原子爆弾です。原子爆弾は、とてもあぶないとわかったので、もうこの世界から原子爆弾をなくしたいと思いました。

学び経験したことを伝えていく

川上 圭輔

城南ドルフィンでは、水泳だけでなく平和についても考えていくサークルとして、毎年一人

以上のコーチ、会員さんを広島、長崎へ派遣しています。広島で行われた少年少女のつどいでは、当時、この世の地獄と化した、旧日本軍検疫所の遺稿を見てきました。

平和公園や原爆資料館は、例年にならぬほどの人であふれかえっていました。核問題だけでなく、今年も平和憲法の解釈を変えようという動きがある中、大きな関心を集めているんだなあと感じた瞬間でした。

原爆投下から69年。被爆体験者の平均年齢は78・9歳で、今年、とうとう20万人を割り込んだそうです。69年前、広島で起こった生き地獄のさまを、絶対



原水禁世界大会の閉会総会には7200人が参加

に忘れてはなりません。私たちは被爆1世の方々が残したものを、次世代につなげてゆく大切な役割を担っています。地元に戻ってからも、広島で学び体験したことを、多くの人へ語り伝えたいという思いを強く感じた3日間でした。

毎年、代表団派遣では、多くの方からご支援ご声援をいただいています。変わらぬ後押しがあったからこそ、ドルフィンから20年以上世界大会への派遣ができております。重ねてお礼申し上げます。

岩国基地で学ぶ日本の未来

星野 弘子

広島から九州方面へ40キロ、山口県岩国基地へ。今、極東最大の軍事基地にするための拡張工事が進行している。核弾頭を積んだ爆撃機が自衛隊機とともに

世界中の戦場へ飛び立って行く準備である。米国の国民と国土を守るために、危険な武器は日本の基地で使用する。3発目の原爆は、岩国から出撃するのだろうか? そんなシナリオがリアルに読み取れた。爆音公害のあまりのひどさに企業は次々撤退し、街は寂れたままで、国の一部の交付金は、米軍受け入れ

各地で恒例の夏まつり

なかしんまつり

7月19日(土)、大森・糀谷支部主催で「なかしんまつり」が行われました。今年で9回目を迎えます。当日は、朝から雨がちらちら不安定な空模様でした。

場所は大森中診療所裏の公園。雨よけのシートや簡易テントを準備しておまつりを行いました。雨が降ったりやんだりでしたが、かき氷にわたあめ、ポップコーンにヨーヨーつりで、子どもたちや地域の方々

と、楽しい時間を過ごしました。なかしんまつりでヨーヨー釣り

の見返りとなっている。考えるほどに暗い気持ちから抜け出せずにいたが、うれしい出会いもあった。「東京の高校生平和のつどい」の皆さんが活動を紹介してくれた。平和学習と交流を深める中で、署名簿を持って国連で核廃絶を訴えていることを知った。歴史のりレーランナーとして

全国鶏の木まつり

7月26日(日)、「全国鶏の木まつり」が開催されました。全国の「うのき」という地名を持つ地域の方々が、大田区の鶏の木に集まり、各地の物産展などが行われます。

この日は猛烈な暑さで、熱中症で気分が悪くなる方もいましたが、救護所としてのき診療所・うのき訪問看護STがまつりをバックアップしました。城南保健生協も健康チェックと骨密度測定で参加。生協加入も1人ありました。

が訪れ、生協加入も1人ありました。お子さん連れや若い方も多く来場され、野菜などを扱うブースが好評でした。

反核フェスティバル

西品川支部

7月22日(火)

原水禁世界大会に派遣する代表の紹介と、派遣資金づくりなどのために、毎年開催しています。三ツ木診療所の屋上で行い、地域の患者さんや組合員、職員など64人が参加。

大会に参加する三ツ木診療所

の新人職員・阿部さんの紹介の後、「芸達者」でおなじみの三ツ木グループを中心とする職員の出し物や地域の方のマッシュク、民謡など次々と登場。参加者は、ビールでのどをうるおし、実行委員会を用意した料理をほおぼり、楽しんでいました。



三ツ木診療所の屋上にて

大田病院

7月29日(火)

代表団の派遣を支えるために、毎年行っています。大田病院駐車場で開催しました。各職場からカレーや餃子、かき氷などを出店。原爆パネルも展示して、地域の方や子どもたちが参加してくれました。代表一人ひとりが大会参加への決意も語り、大いに盛り上がりました。

介護ホットラインのご案内

介護についてのご相談は下記までお気軽にご連絡ください。城南保健生協には3カ所の訪問介護事業所(ヘルパーステーション)があります。

ヘルパーさん大募集中です!! ご一緒に働きませんか?

3762-0106 すずらん(平和島)



健康チェックも大盛況でした

7月26日(日)、東京南部生協主催の「第2回池上センターまつり」が開催されました。城南保健生協も1回目から健康チェックと骨密度測定で参加しています。



地域の方々が寄ってくれました